

ご注意!

最近、同窓会名簿を
利用した悪質な勧誘が
多発しています。

開学三十周年を記念し、鵬友会同窓会名簿第三刊を発刊しました。

第一刊、第二刊と比較しても分かりますように、事務局の日々の努力により、大幅にクリーニング業務が進行し、会員の皆様のお役に立っていることは大変喜ばしいことですが、同時に各地から、同窓会名簿を利用したと思われる、様々な勧誘の電話が増えたなどの声を耳にします。最近では、勧誘の方法も多様化し、瞬時には勧誘かどうか分かりにくくなっている面もあります。本来の目的である、名簿の内容が正確であればあるほど困ったものとなってきます。

同窓会が直接、会員に勧誘の電話を入れることは絶対にありません。はつきりとした態度で、断わるべきものはきちんと断わり、自分を守ると共に、不正使用防止のためにも名簿の流出等、取り扱いには充分気を付け、旧交を暖める等の、有意義な利用に役立つことを望みます。おかしいと思ったら、すぐに事務局か各支部に確認の電話を入れて下さい。



各支部連絡先

関東支部

●支部長 小室 宏(52年度卒)
☎0429・72・7631
(自宅)
飯能市美杉台1の20の15

関西支部

●支部長 小原 純博(47年度卒)
☎06・875・6286
(自宅)
吹田市山田西1の23のA13の607

中国支部

●支部長 久川 勝巳(46年度卒)
☎0849・62・2863
(自宅)
広島県深安郡神辺町徳田2043

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭(46年度卒)
☎092・885・0358
(自宅)
福岡市西区愛宕浜2の2の4の303

大分支部

●支部長 米沢 金作(45年度卒)
☎0975・46・1462
(自宅)
大分市大字羽屋418の2

佐賀支部

●支部長 石井 博史(46年度卒)
☎0954・23・1477
(自宅)
武雄市武雄町大字武雄6699

長崎支部

●支部長 馬場 達朗(46年度卒)
☎095・878・2946
(自宅)
長崎市磯道町48の1
ボンヌール小ヶ倉303

鵬友会
平成10年度
活動計画

- 5月31日 「三十周年記念行事」
高校配付用
プロモーションビデオ
大学へ寄贈
- 6月1日 会報おとり臨時発行
鵬友会総会案内発送
- 6月28日 留学生歓迎会
(於/レオプラザホテル)
- 7月19日 鵬友会総会
(於/レオプラザホテル)
- 9月 会報おとり第11号発行
- 12月 就職ゼミナール
(於/大学)
- 3月 卒業式参列

同窓会名簿発刊
三十周年を節目として同窓会名簿(第三刊)が昨年発行されました。毎年増え続ける卒業生の足取りを追いかけ、事務局の苦労は計り知れないものがあります。「何年たっても仲間はずれ」です。きつと懐かしい名前に出会えると思います。購入を希望される方は、事務局にお申し込み下さい。
●三、〇〇〇円(送料込み)



住所変更は連絡を!!

事務局において日々名簿のクリーニングをしています。未だ住所の確認が取れない卒業生、変更があるにもかかわらず新住所等の連絡が事務局へ伝わっていない卒業生が多数おられる様です。自分の名簿であるだけでなく、友人にとつての名簿でもあります。変更の際は必ず、各支部長又は同窓会事務局へご連絡下さい。

●長崎県立大学鵬友会事務局
☎0956・47・5146

お願い!!

卒業生の皆さん各支部からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちょっとした心掛けが同窓会を応援しているのです。

長崎県立大学同窓会「鵬友会会報」
おとり

臨時号

発行 長崎県立大学鵬友会
佐世保市川下町二三(大学内)
☎0956・47・5146
☎0956・47・5146

**O.Bの応援を期待
在学生の就職状況、
来年以降も「超氷河期」**

21世紀を目前に控え、日本版ビッグバン、金融システムの不安、政・官の相次ぐ不祥事による不信感、消費マインドの冷え込み、企業のリストラなど、日本は今だかつて無い程揺れ動き、企業の経営環境や労働環境の厳しさから、なかなか回復出来ない状況下にあります。又、マスコミ各機関でも取り上げられていますように、昨年一月の「就職協定廃止」は、学生の就職戦線に大きな波紋を投げかけ、

今年もその余波は続くと思われています。企業の採用スケジュールのさらなる「早期化」に伴う就職活動の「長期化」、採用方法の「多様化」などが加速して、就職活動に取り組む学生の中に焦燥感が広がってきているようです。追い討ちをかけるように、4月の新聞各紙には、「来年度の就職求人状況、4社に1社は採用人員を削減見込」。との記事も掲載され、在学生にとつて益々厳しい状況となっています。



昨年11月の模擬面接実習、学生の真剣な取組みが分かります。

このような時、我々O.Bは「先輩として何かできることがあるはしないか」と考えなくてはなりません。それが例え些細なことでも、社会に飛び立とうとしている後輩に暖かいまなごしを向けることが、これからの時代を担おうとしている学生達の応援歌になるかもしれないと思うのです。又このような活動を通じて鵬友会の縦系横系をしつ

かりと紡ぎ、織り上げる一段階ともなり得ることでしょう。このような主旨から、全国各支部でも学生の就職活動応援の動きが起り、一昨年に続いて昨年8月には関東支部、本年度に入ってから3月に大分支部がゼミナールを開催。更に11月には福岡支部でも開催予定で進行しております。各地でご活躍の鵬友会会

セミナー講師募集

同窓会開催の「就職セミナー」は超氷河期といわれる在学生の就職活動にひとすじの明るい光を与えました。鵬友会では、今年度も関東支部、福岡支部、大分支部等で「就職セミナー」を開催する予定です。各支部では、セミナーで自分の経験談を語ってくれる卒業生を募集しています。詳しくは各支部長へお問合せ下さい。鵬友会では、O.Bを交えたセミナーを今後も開催して行きたいと考えております。ご協力をお願い致します。

2年毎の祭典「鵬友会総会」

30周年の今年は

7/19(日)に決定!

多数の参加者を期待



近年に類を見ない激動の年であった、平成8年の鵬友会総会から早2年、今年も全国の鵬友たちが一堂に集う鵬友会総会が7月19日(日)レオプラザホテル佐世保(旧月華荘)において開催されることになった。

日本経済の活性化・景況感が遅々として進まぬ中、鵬友会は独自の歩みでこの2年間、開学30周年記念行事を主体として様々な活動を行ってききました。

(1) 会員の情報を大幅にクリーニングした同窓会名簿第三刊の発行。

(2) 高等学校配付用プロモーションビデオの



平成8年度鵬友会総会風景

編集・製作及び大学への寄贈。

(3) 関東支部、大分支部等で開催された在学生のための「就職セミナー」等がその集大成です。セミナーは大学就職課との連携により各支部に確実に波及しており、ここに至り鵬友会も単体から複合へと新しい方向に進んで来ています。

今回の総会は開学30周年記念行事の成果報告という大きな議題を抱えての開催で有り、さらに今後40周年、さらには50周年に向けての新たな第一歩でもあることから、「同年たっても仲間は仲間」の合言葉のもと、前回出席が出来なかった会員は是非、総会後の親睦会において、懐かしい恩師、友人を交えて新しい絆を結ぶためにも多数の出席を望む次第である。

鵬友会会員のみなさまへ

鵬友会会長 前田 敬一

閑静な相浦川のほとりのどかな田園風景の中、屹然とそびえる愛宕山に見守られるかのように、長崎県立大学が国際経済大学として設立されて以来、31年を迎えました。昭和から平成へと年号が変わり、長崎県立大学と学名を変更しても、7000名を越す卒業生にとってこの地で過ごした4年間は決して忘れることができない思い出にちがいないことでしょう。

しかしながら、長崎県立大学が、今後も永遠に存続できるであろうという安易な予測は避けなければならぬ。

新生児の出生率の低下などにみられる少子化は、大学の存続する環境を厳しくさせており、教育行政の予算などの縮小と相まって、我々鵬友会が母校を持たない同窓会とならないですむ保証はありません。

先年、前県知事によって決定した長崎県立の新設大学の開学も、母校の将来にとっては決して好ましいものとはいえません。

また、現在長崎県立大学自体も、すでに行われた大学院の設置や、単科大学から総合大学への移行をはかるなどの拡大充実をもってこれらの危機を乗り越えようと努力しているように見えます。

新しい学部設立による人気度や注目度の向上により、停滞している志願状況の改善は確かに必要なことと思われまます。我々鵬友会はこのような現状を注意深く見守り、期待される役割を果たすことが必要とされていると思えます。

昨年度、創立30周年にあたって、長崎県立大学のPRビデオの作成と、鵬友会会員名簿第三刊の発刊という事業を、多数の会員の

篤い御協力に支えられ、無事行うことができました。

更に関東支部で毎年行われてきた就職セミナーを、佐世保と大分でも行うことにより、学生の参加人員を増やすことができたことにより、就職活動に対する学生達の不安を、技術面や情報面で取り除く一助になったことは、我々の活動に新しい方向を見出すことができました、という点で意義深いものであったと思えます。

すなわち同窓会が、活動資金のみを活動の基礎として考え、その範囲で活動を行うという我々の従来の取り組み方は、もはや捨て去られるべき時が来たのであり、我々は7000名の鵬友会会員の知識と経験を生かし、愛情で支えられた同窓会活動を行うことにより、母校長崎県立大学の発展を希求していくことが出来る、ということに気が付いた訳で、その意味において、30周年は新鮮な鵬友会の姿を我々の前に現出してくれたと言ってよいと思えます。

追加募金のお願い

前述のとおり、この2年間30周年記念行事として、様々な活動を行ってきましたが、名簿発刊においては協賛広告、ビデオ製作においては寄付という、会員の皆様の絶大なご協力を持ちまして無事遂行することが出来ましたことをここに報告致します。

しかしながら鵬友会活動はこれで終了することなく、今後も永久的に継続していかねばなりません。毎年増加し続ける新会員への郵送費等の大幅な経費自然増。現在役員会において検討中の、在学生就職活

動支援のための企業向け「大学PRビデオ」の製作。超氷河期といわれる在学生の就職活動の応援セミナー開催等々どれもこれも経費増大の大きな問題を抱えております。

しかしながら、現在の収入源は、入学時に徴集する学生からの同総会費のみとなっており、このままでは間もなく鵬友会の活動に支障をきたすことは目に見えています。

鵬友会としては更に活動の輪を大きく広げていかなければなりません。

つきましては、誠に恐縮ではございますが主旨をご理解の上、追加募金をお願い致したくここにご案内をさせて頂きます。

金額は前回と同様に一口5,000円からとしておりますので、同封の振込用紙にてご協力の程、宜しく願います。

会員の皆様の応援で鵬友会が益々発展することを期待しております。